

概要版 「長野県航空・宇宙機器産業振興戦略」

1. 戦略策定の趣旨等

【趣旨】
「長野県航空機産業振興ビジョン」に基づく、取組成果や課題等を踏まえ、10年後の新たな目指す姿を示し、具体的施策により、その姿の実現を図る。

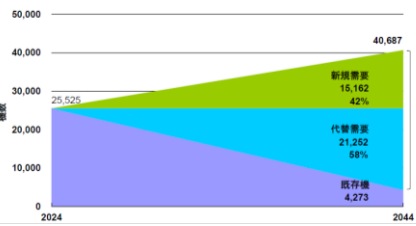
【見直しの方向性】

- ・コロナ禍後、民間航空機市場は回復しており、また、次世代航空機の開発等も進められていることから、県内企業にとって参入の好機となっている。
- ・航空と宇宙機器産業は基盤技術に共通点があるため、航空機器産業に加え、今後、急速な市場拡大が見込まれる宇宙機器産業等への展開を促進する。

【計画期間】 2026年度から2030年度までの5年間

2. 航空・宇宙機器産業の概要

＜ジェット旅客機の需要予測結果＞



出典：JADC民間航空機に関する市場予測2025-2044

＜世界の宇宙市場の規模 [billion \$]＞

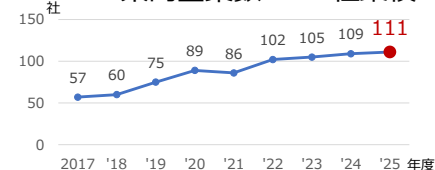


出典：World Economic Forum『Space: The \$1.8 Trillion Opportunity for Global Economic Growth』(2024)を基に経済産業省にて作成

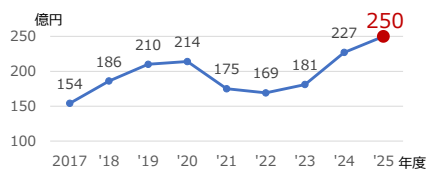
- 航空機市場では、次世代を含む航空機の成長が見込まれ、国は航空機産業戦略を策定し、カーボンニュートラル等の新市場への対応を推進
- 世界の宇宙市場は急成長が見込まれており、国は宇宙戦略基金を創設し、宇宙産業エコシステムの形成・拡大を推進
- 国が成長戦略において「航空・宇宙」分野を重要領域に設定

3. 長野県の現状

✓ 航空機器産業に取り組み
県内企業数111社集積



✓ 航空機器関連の製造品出荷額等
250億円まで増加



✓ 人材育成から研究開発、実証試験までの航空機器産業の一貫支援体制を構築

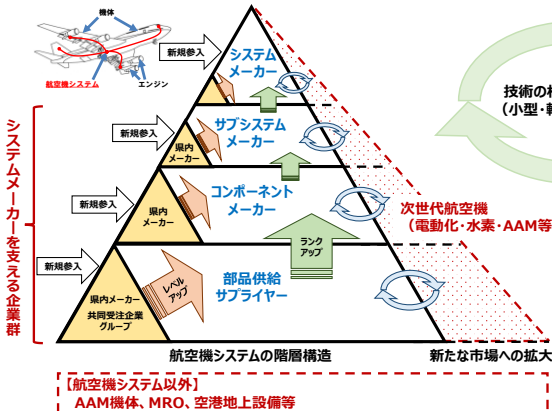
4. 長野県の目指す姿（2035年の将来像）

エス・バード等のこれまで整備してきた支援インフラを更に強化し、最大限活用することにより、県内企業の独自技術力と製品品質を高め、世界の航空・宇宙機器産業を支えていく産業集積を目指す

航空機器産業

県内参入企業の成長・発展等を促進し、次世代を含む航空機のサプライチェーンにおいて存在感を発揮できる航空機システム等関連の企業群（アジアの航空機システム拠点）を形成

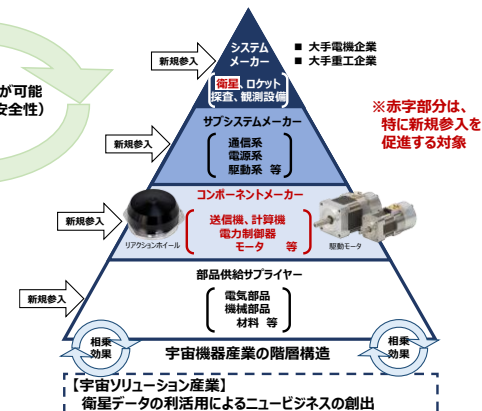
※KPI：航空機システムメーカー 3社の立地
関連製造品出荷額等1.5倍（2025年比）



宇宙機器産業

県内企業の宇宙機器産業への参入を促進し、世界的に拡大・進化する宇宙産業エコシステムの一角を担う、競争力や技術的優位性を備えた企業群を形成

※KPI：宇宙機器産業参入企業100社の集積



5. 目指す姿の実現に向けた取組（アプローチ）

＜航空機器産業＞

1. システムメーカー群の形成
 - 技術力の高い企業の新規参入や企業誘致
 - OEMとの直接取引に向けた販路開拓
2. システムメーカーを支える企業群の形成
 - 認証取得や高度人材の育成
 - 技術力・生産性の向上
3. システム以外に参入する企業群の形成
 - MROなどの周辺産業やAAMの開発動向等の情報提供による新規参入

＜宇宙機器産業＞

1. 参入を希望する企業群の形成
 - 県内企業参画型の宇宙関連PJの実施
 - 宇宙産業の情報提供・個別相談
2. 参入を実現した企業群の形成
 - 宇宙機器の加工技術への挑戦
 - 宇宙機器開発等のための試験機器利用の環境整備
3. エコシステムの一角を担う企業群の形成
 - 設計・提案力の強化

6. 推進体制

NAGANO航空宇宙産業クラスターネット共同事務局※が中心となり、JAXA等の関係機関や中部地域の各県と連携し、戦略を推進

※共同事務局：長野県、(公財)長野県産業振興機構、(公財)南信州・飯田産業センター、NPO諏訪圏ものづくり推進機構

